

新宮山彦ぐるーぷ第2391回

不動峠地蔵堂再建5周年 北山郷・不動峠の街道を語る会

◇実施日 9月28日(日) 晴れ

◇場所 下北山村桑原公民館

◇時間 13時00分～15時10分

◇語り手 不動峠地蔵堂保存会 山本恭裕

熊野修験瀧衆 柴田實英、成田瀧英

新宮山彦ぐるーぷ 沖崎吉信

今年、不動峠地蔵堂再建5周年を迎えるに当たり、不動峠地蔵堂保存会の主催により「北山郷・不動峠の街道を語る会」が開催された。当日は公民館で準備された席では足りなくなるほどの聴講者が参加され、それぞれの語り手も熱のこもった語りとなった。

1部では不動峠地蔵堂保存会の山本さんから「筏師と不動峠」

2部では熊野修験の柴田さん・成田さんから「実利行者と下北山村の村民との関わり」

3部では当ぐるーぷ世話人代表の沖崎から「大峯奥駈道を守る活動」をテーマとした語りが行われた。

また、会場には下北山村の筏、索道などの写真パネル及び詩画集の原画展示も行われていた。

なお、不動峠地蔵堂保存会では11月23日(日)に桑原田戸口登山口から不動峠地蔵堂を往復する「不動峠を歩く会」を企画しており、奮ってご参加いただきたいとお知らせがあった。



桑原公民館



保存会山本会長



柴田、成田行者



沖崎代表



満員になった



閉会

◇新宮山彦ぐるーぷ聴講者

大江加予子、大江徳子、畑林秀味、濱野兼吉、松本吉殖、森奈良好、須崎由香、湯川一郎、生熊敏男、生熊千満子、阪口雄二、上村

洋司、上村和美、山川自知、杉本和巳、高階美根子、山口泰宏、榊
本真仁、梶野照雄、坂野良
20名

◇追記（不動峠への登山道の状況について）

当日、阪口雄二さんが七色側（不動峠トンネル手前の林道分岐）
から不動峠を往復され、以下の通り情報提供がありました。

・登山道は荒れ気味で、チェーンソーを要する倒木が4本あり、道
中、熊の爪痕も見受けられた。阪口さんの歩かれる速さで、上り4
5分下り30分を要したとのことでした。

（記；湯川）